

令和3年度 県立特別支援学校研究指定校一覧

No	学 校 名 等	指定別	新規又は継続	指定年度	研究課題・事業名	研究主題・事業内容等	本年度公開の有無	公開期日
1	千葉県立千葉聾学校	県	新規	03-04	特色ある道徳教育推進校	「自他を認め、思いやりの心をもって主体的に行動できる子供を育てるために」（豊かな心を育む道徳プロジェクト～千葉ろうモデル） 道徳科の授業で扱う内容を、体験活動からアプローチしていく。体験事例を蓄えた上で、実体験から得た見方、考え方、感じ方を道徳科の授業の中で想起することで道徳的価値の自覚を深めていく。日常の清掃活動（全校）と、各学部や学年で指定した活動の2つの取組で体験したことを授業の中で言語化し、深めていく。	無	—
2	千葉県立桜が丘特別支援学校	県	継続	29-03	オリンピック・パラリンピック教育推進校	オリ・パラへの興味関心を高め、理解を深めることで自らできることを考え、行動できる児童生徒の育成を図る。併せて、自国や他国の歴史、伝統、文化についての学びを深めることを学習目標とする。以下、3点①保健体育でパラ競技を自分たちでルールを再構成した上での実施、②ボッチャやシッティングバレーボールなどの現役選手を招聘した競技体験、③おもてなしプロジェクトに係る調べ学習等を通じて自国や他国の歴史、文化の理解、を中心に取り組む。	無	—
3	千葉県八千代特別支援学校	県	新規	03	一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程	主題「知的障害のある児童生徒のための自立活動の指導の在り方」 新学習指導要領の主旨を踏まえた、知的障害のある児童生徒のための自立活動の在り方について検討するとともに、自立活動の指導の充実のための教育課程の編成や指導の在り方について実践研究を行う。	無	—
4	千葉県立つくし特別支援学校	県	継続	02-03	一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程	「学習評価に基づいた授業改善」 学習評価の在り方について明らかにしながら、子供たちが自ら学び思考し行動する姿を目指して授業改善を図る。授業実践の積み重ねから、各教科の学習内容や年間計画を整理し、教育課程の改善につなげていく。	無	—
5	千葉県立矢切特別支援学校	県	継続	29-03	オリンピック・パラリンピック教育推進校	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、県内の開催地や競技について調べたり、関する音楽の学習等を行ったりすることで意識を高める。様々なスポーツの魅力に触れることで生涯を通じてスポーツに親しむ気持ちを育てる。多様性の尊重や他者への共感や思いやりを培うと共に、美化活動や学校周辺のごみ拾いなどに取り組み、おもてなしの精神を育成する。	無	—
6	千葉県立特別支援学校流山高 等学園	文科省 研究開発学校 県	継続	02-06	職業教育・キャリア教育の充実	「特別支援教育における、変化する社会で生き抜くための資質・能力とエージェンシーを育成する教育課程及び指導方法の研究開発」 ～新領域「私の時間」（カリキュラム「私の成長計画」）の実践を通して～ 特別な教育的ニーズを有する生徒に対し、これからの変化が激しい社会の中で、よりよく生き抜くための資質・能力の育成を目指すため、エージェンシーに着目しながら、新領域「私の時間」を創設する。また、新領域「私の時間」を基軸に、教育課程の編成・授業における指導方法及び評価方法の研究に取り組む。	有	R4年 2月10日

令和 3 年度 県立特別支援学校研究指定校一覧

No	学 校 名 等	指定別	新規又は継続	指定年度	研究課題・事業名	研究主題・事業内容等	本年度公開の有無	公開期日
7	千葉県立我孫子特別支援学校	県	継続	02-03	一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程	「『知的障害のある児童生徒の質の高い学びを実現するための、ICTを活用した主体的・対話的な授業実践』～タブレットなどICTを活用した授業づくりとICT活用実践のシラバスへの位置づけ～」をテーマとして、知的障害特別支援学校におけるプログラミング教育の視点も取り入れてICTを活用した実践に取り組み、その実践を「ICT活用実践集」として編集する。	有	R3年 11月17日
8	千葉県立四街道特別支援学校	県	新規	03	学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業	病気や感染予防のために登校して授業を受けることができない生徒が、自宅や病室で遠隔授業を受けたり、欠席した授業の学習内容を自分で見直したりすることができるようにデジタル教科書を有効に活用する方法を検証する。	無	—
9	千葉県立栄特別支援学校	県	新規	03	特別支援校を拠点とした障害者スポーツの振興	地域の障害者スポーツ振興の拠点として、障害者スポーツを通じた地域との交流の推進を図るとともに、児童生徒にとって障害者スポーツをより身近なものとする。 障害のある人もない人も参加できるスポーツを楽しむ場を提供し、障害に対する理解を広める。（地域参加型の大会の運営）	無	—
10	千葉県立銚子特別支援学校	県	継続	02-03	一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程	複数の障害に対応できる教育課程において、個に応じた幼児児童生徒の質の高い学びを実現するために、各教科等チェックシート等の資料を参考とした、個別の指導計画や評価の在り方について実践研究を行う。	無	—
11	千葉県立東金特別支援学校	県	継続	30-03	オリンピック・パラリンピック教育推進校	これまで積み重ねてきた本校の教育実践に、オリンピック・パラリンピックがもつ様々な要素を柔軟に取り入れ、千葉県のオリンピック・パラリンピック教育の取組方針である4つのプロジェクト（おもてなし・心のバリアフリー・スポーツ・グローバル）に関連付けて実践し、教育活動の活性化、そして、東京2020大会後の本校の教育実践のレガシーの確立を目指す。	無	—
12	千葉県立長生特別支援学校	県	継続	02-03	特別支援学校のセンター的機能の充実	「ライフサポートファイルを活用した地域の関係機関との連携の在り方」～個別の教育支援計画の校内外での活用に向けて～ 児童生徒に関わる諸機関にライフサポートファイルの有効性を周知するとともに、個別の教育支援計画の校内外での有効な活用を目指し、内容や使い方の見直しを行う。	無	—